

悩みのたね

研究統括センター

NEWSLETTER VOL.5

NEWSレター**VOL.4**での、あなたの悩みのたねについて、**GOOGLE**フォームへの貴重なご回答をありがとうございました。

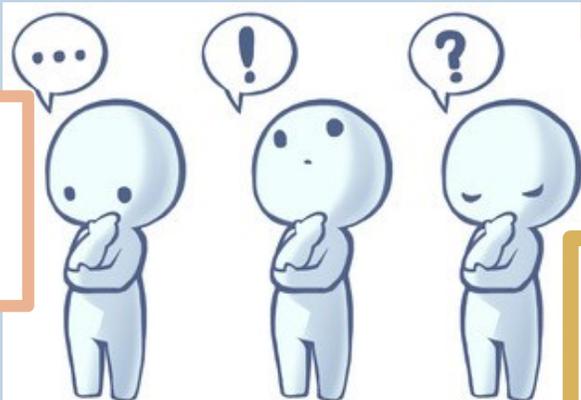
次の様な「たね」「ぼやき」をいただきました。

①試料・情報の収集・提供を行う機関になった場合、院内手続きは何をしたらよいのか知りたい。②協力機関になった場合、同意の部分や院内手続きについて対応方法が知りたい。③研究代表者は、協力機関や資料情報提供を行う機関の対応について、どういう指示を出せばよいのか知りたい。

◆ 臨床統計をどの程度、専門家に相談して良いのかが分からない。大学によっては、臨床統計教室のスタッフが豊富でコンサルをむしろ積極的に受け入れているというが本学はどうなのか？(そもそもこの窓口がどこか分からない。)

◆ どの程度の事例から特許として認められるのか、もう少し実例を紹介してほしい。(これは知財センターが担当?) ◆ 助成金の公募情報をもう少し発信して欲しい(これは研究推進課が担当?)

倫理委員会申請書の記載が分からない点が多い



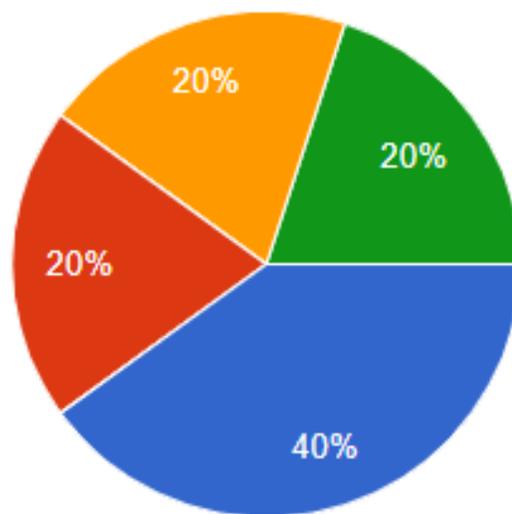
介入研究の際の保険加入について

臨床医ですが、研究時間の確保が出来ません。共働きなので、アフターファイブでの研究時間の確保が殆ど不可能です。どれだけ業績を積んで科研費を取っても、医局内の勤務都合が優先され、臨床業務が割り当てられます。臨床業務をいち早く片付けて研究時間を確保しようとする、他の医師が遅れている臨床業務も引き受けざるを得ないので、結果、研究をしていない医師よりも臨床業務が過剰になる、というパラドックスが生じています。これは、精神衛生上、非常に良く無い事態で、離職を常に考えながら仕事をしています。科の事情を超えた大学直轄での研究に専念出来る人事枠(京大・白眉の様な枠?)を数名で良いので設立して、基礎研究研修医プログラムの様に研究時間のエフォートを明示して欲しいです。

「悩みのたね」についてどの様に答えたらよいかを尋ねたところ 以下の様な結果でした。

その「悩みのたね」について

5件の回答



- Newsレターでとりあげて欲しい
- FAQでわかるように工夫して欲しい
- 個別の相談窓口をおしえて欲しい
(dcsweb.group@nms.ac.jpへご連絡ください)
- 適切な媒体で。FAQの形で後に残る方が
良いだろうとは思います。

研究統括センターから回答できる範囲でお答えします。

たね

①試料・情報の収集・提供を行う機関になった場合、院内手続きは何をしたらよいのか知りたい。②協力機関になった場合、同意の部分や院内手続きについて対応方法が知りたい。③研究代表者は、協力機関や資料情報提供を行う機関の対応について、どういう指示を出せばよいのか知りたい。

回答

試料・情報の収集機関、試料・情報の提供機関、研究の実施体制、役割にともない、手続きや同意説明文書等の取扱いが変わります。**※別紙**をご参照いただき、ご不明な点は、下記中央倫理委員会事務局までご連絡ください。

※別紙 「＜試料・情報を他研究機関へ提供する
場合、提供を受ける場合の手続きについて＞

中央倫理委員会：chuorinri.group@nms.ac.jp

今後ホームページを充実させて、これらの手続きについて円滑に申請できるような環境を整えていく予定です。

たね

介入研究の際の保険加入について

回答

科研費やAMED等の公的研究費による保険契約、契約にともなう出金が必要な場合には、研究推進課にて事務手続きの窓口を承ります。

臨床研究保険代理店に問い合わせをいただいております。研究統括センター臨床研究部門にお問い合わせいただければ保険代理店を紹介いたします。

たね

倫理委員会申請書の記載が分からない点が多い

回答

わかりづらく、申し訳ございません。
申請書の記載について、ご不明な点は、
下記中央倫理委員会事務局までご連絡
ください

中央倫理委員会：

chuorinri.group@nms.ac.jp

回答

たね

- ◆ 臨床統計をどの程度、専門家に相談して良いのかが分からない。大学によっては、臨床統計教室のスタッフが豊富でコンサルをむしろ積極的に受け入れているというが本学はどうか?(そもそもこの窓口がどこか分からない。)
- ◆ どの程度の事例から特許として認められるのか、もう少し実例を紹介してほしい。(これは知財センターが担当?)
- ◆ 助成金の公募情報をもう少し発信して欲しい(これは研究推進課が担当?)

研究計画書や論文化に関する生物統計の相談については、千駄木地区は臨床研究総合センターへ、その他の地区については研究統括センターにお問い合わせください。コンサルテーションを実施しています。

知的財産権に対する相談については知財センターが窓口になります。研究開発の方向性など、開発全般に対するご相談については、研究統括センター臨床研究部門にて承ります。

助成金の公募について、窓口は研究推進課になります。財団等研究費公募情報等を大学ホームページにて掲載しておりますので、ご確認ください。

<https://www.nms.ac.jp/college/kenkyujoho/kobojoho.html>

<https://www.nms.ac.jp/college/kenkyujoho.html>

たね

臨床医ですが、研究時間の確保が出来ません。共働きなので、アフターファイブでの研究時間の確保が殆ど不可能です。どれだけ業績を積んで科研費を取っても、医局内の勤務都合が優先され、臨床業務が割り当てられます。臨床業務をいち早く片付けて研究時間を確保しようとする、他の医師が遅れている臨床業務も引き受けざるを得ないので、結果、研究をしていない医師よりも臨床業務が過剰になる、というパラドックスが生じています。これは、精神衛生上、非常に良く無い状態で、離職を常に考えながら仕事をしています。科の事情を超えた大学直轄での研究に専念出来る人事枠(京大-白眉の様な枠?)を数名で良いので設立して、基礎研究研修医プログラムの様に研究時間のエフォートを明示して欲しいです。

回答

ご意見をありがとうございます。
大学予算による研究にエフォートを費やすことができる環境（京大白眉センター：
<https://www.hakubi.kyoto-u.ac.jp/> のような）作りについては、現時点では回答が難しいです。
が、そのようなご意見を受け止めて、研究推進できる組織作りに少しでも支援できるように努めたいと考えています。

このような意見、回答もいただきました。

「悩みのたね」以外でも、newsレターでとりあげて欲しいテーマがあれば教えてください。

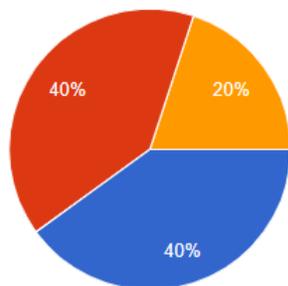
2件の回答

何でも良いので、研究関連の情報を配信してほしい。研究情報は伝聞で入ってくる物が多く、情報が足りません。科内に研究に取り組んでいる者が殆どいないので、誤った伝聞ばかり入ってきて、アテになりません。

臨床研究デザインはある程度できるんですけど、その後の統計学的処理の部分が難しいのでヘルプがあるとより研究ができるかもです。

研究統括センターNewsレターについて

5件の回答



- 毎回読んでいる
- 今回初めて読んだ
- 実は、配信を楽しみにしている

Newsレター配信頻度について

5件の回答



- 研究に役立つ情報を得たいから、配信頻度を多くして欲しい
- 研究に役立つ情報は少ないと感じているから、今くらいで構わない
- どちらでもない

- Googleフォームへ投稿いただいたことで、研究を実施しようとしてされている研究者が臨床業務との兼合いの中で、どのような事に悩まれているのか、ほんの一部ではあると思いますが、理解できました。情報を得たいと思われている方も多く、研究関連の情報についても、少しずつ発信していきたいと思えます。
- 臨床研究中核病院として、取り組まれている他機関の教育研修（無料）等の受講を希望される方は、お問い合わせください。

【研究に関する相談・問い合わせ】

学校法人日本医科大学 研究統括センター 臨床研究部門

Mail : dcswb.group@nms.ac.jp

電話 : 03-3868-9162

〒113-0032 東京都文京区弥生1-14-4 弥生2号館3階